

【図表1】 水素基本戦略のシナリオ

		現状	2020年	2030年	将来 (2050年)	<参考>	
水素調達量		0.02万ト	0.4万ト	30万ト	1000万ト+α	天然ガス輸入量 8500万ト	
水素コスト		~100円/Nm ³		30円/Nm ³	20円/Nm ³	天然ガス輸入価格 16円/Nm ³	
水素利用	発電	コスト	技術開発段階		17円/kWh	12円/kWh	LNG火力発電単価 12円/kWh
		発電容量	技術開発段階		1GW程度	15-30GW程度	火力発電設備 132GW
	モビリティ	ステーション	100箇所	160箇所	900箇所相当	ガソリンスタンドを代替	ガソリンスタンド数 3万1500箇所
		FCV	2000台	4万台	80万台	ガソリン車を代替	乗用車台数 6200万台
		FCバス	2台	100台	1200台		
		FCフォークリフト	40台	500台	1万台		
	エネファーム	22万台	自立化	530万台	家庭用の従来エネルギーシステムを代替	世帯数5300万世帯	

出所：再生可能エネルギー・水素等関係閣僚会議「水素基本戦略」より丸紅経済研究所作成